

JR東海と静岡県との対話状況(まとめ)

- 環境保全有識者会議の報告書とりまとめ(令和5年12月)以降、合計**362**回の対話を実施。
- 河川法や県条例に基づく手続きに関して解決すべき残る課題について、協議を進めている。
- 引き続き、県とJR東海との協議に、国交省も入って、対話を進める。

JR東海と静岡県との対話状況(まとめ)

環境保全有識者会議報告書とりまとめ(令和5年12月7日)以降、令和8年3月26日まで

年 月	議 題					対話回数 ^{注2)}
	水資源	生物多様性	トンネル発生土・置き場	法・条例手続き ^{注1)}	全般的なこと	
令和5年		1	1			2
令和6年	29	57	44	21	3	124
令和7年	1月	4	10	2	1	17
	2月	7	6		1	15
	3月	5	5	1	4	12
	4月	1	12	7	6	22
	5月	6	9	10	1	23
	6月	3	7	2	2	14
	7月		6	8	1	15
	8月		6	3	2	10
	9月		5	4	2	12
	10月		10	8	1	18
	11月		10	4	1	14
	12月		7	3	5	13
令和8年	1月		6	8	6	19
	2月		7	10		13
	3月		10	9	1	19
累 計	55	172	122	55	7	362

注1) 静岡県自然環境保全条例については計15回(令和6年まで:3回、令和7年:11回、令和8年:1/7)

静岡県盛土等の規制に関する条例については計12回(令和6年まで:10回、令和7年:3回)、

河川法については計27回(令和6年まで:8回、令和7年:13回、令和8年:1/15,1/19,1/19,1/22,1/28,3/13)の対話を実施。

注2) 1回の会議で複数の議題を議論しているため、合計回数は一致しない。

※赤字は前回会議からの追加分